

鉄安協

“その先の安全を支えます”

協会案内

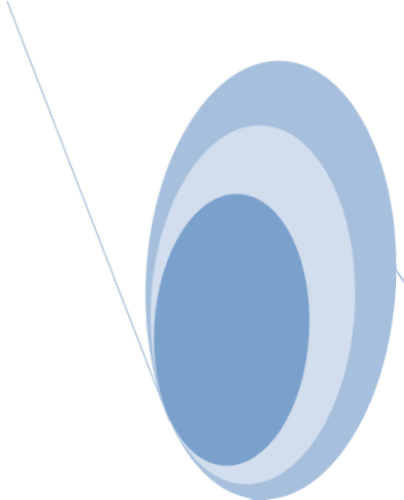
Association Profile



Railway Electrical Construction Association on Safety

一般社団法人鉄道電業安全協会

鉄道電気工事の安全向上が私たちの使命です



本会は、昭和40年当時、鉄道電気関係工事がその重要性を一段と増す中で、安全への取り組みを工事業界全体として組織的に行うことの必要性に鑑み、昭和42年2月に鉄道電気関係工事会社140社を母体に社団法人鉄道電業研究会として発足しました。その後、昭和62年4月の国鉄民営分割化に伴いJR各社からこれまでの事業を委嘱され、また平成24年4月には公益法人制度改革に基づき「一般社団法人鉄道電業安全協会」と名称も新たに、現在に至っております。

本会としましては、鉄道の安全性がますます要請される中で、その役割の重要性を認識し、今後も我が国の鉄道電気工事の安全性向上に寄与し信頼される協会として、その重責を担い事業を展開してまいりますので、鉄道会社、会員皆様の一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(目的)

本会は、鉄道電気関係工事の安全施行に関する調査、研究、講習及び資格認定、並びに安全技術の普及、改善に寄与し以て鉄道事故防止の促進を目的とします。

(事業)

本会は、前記の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 鉄道電気関係工事の安全施行に関する調査研究
 2. 鉄道電気関係工事の施行技術に関する調査研究
 3. 鉄道電気関係工事の安全対策各種委員会の開催運営
 4. 鉄道電気関係工事に関する講習会、研究会、講演会等の開催
 5. 鉄道電気関係工事に関する各種資格認定業務
 6. 鉄道電気関係工事に関する各種資料の蒐集頒布
 7. 鉄道電気関係工事に関する各種統計の作成
 8. 会報「鉄道電業と安全」、鉄道電気工事関係図書の刊行頒布
 9. 各種安全関係功労者の表彰
 10. その他本会の目的達成のために必要な事項
- 

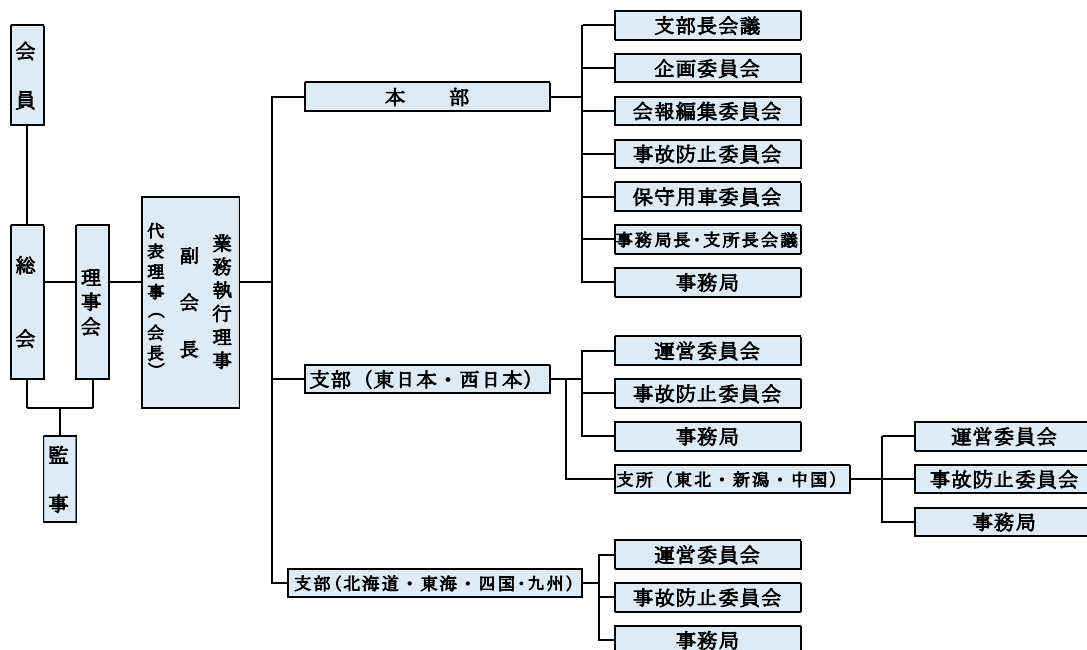


鉄道電業安全協会の概要

□沿革

- ・昭和42年2月1日官政117号により、「社団法人鉄道電業研究会」として運輸大臣より認可、発足
- ・昭和62年4月国鉄民営分割に伴い、JR7社から事業継続委嘱
- ・平成22年4月運転適性検査の共通化のため民鉄の検査、講習の受託開始
- ・平成24年4月公益法人改革により、一般社団法人鉄道電業安全協会として移行

□組織



□会員数(2024.4.1現在)

	本会員、副会員	賛助会員
北海道支部	32	3
東日本支部	144	34
東北支所	42	11
新潟支所	25	6
東海支部	56	7
西日本支部	96	9
中国支所	19	2
四国支部	18	2
九州支部	30	4
計	462	78
合計	540	

特別会員	北海道旅客鉄道(株)
	東日本旅客鉄道(株)
	東海旅客鉄道(株)
	西日本旅客鉄道(株)
	四国旅客鉄道(株)
	九州旅客鉄道(株)
	日本貨物鉄道(株)
	小田急電鉄(株)
	東京臨海高速鉄道(株)
	西武鉄道(株)

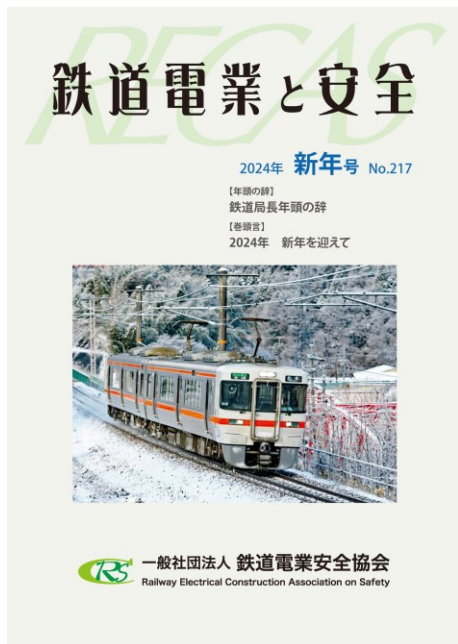


鉄道電業安全協会 の 主な事業活動

I. 調査・研究、委員会及び関係図書刊行頒布事業

鉄道電気関係工事に関わる事故について、各種委員会による調査研究、統計処理を行い会報誌「鉄道電業と安全」、ホームページ等で情報提供します。

□旬報の会報誌「鉄道電業と安全」

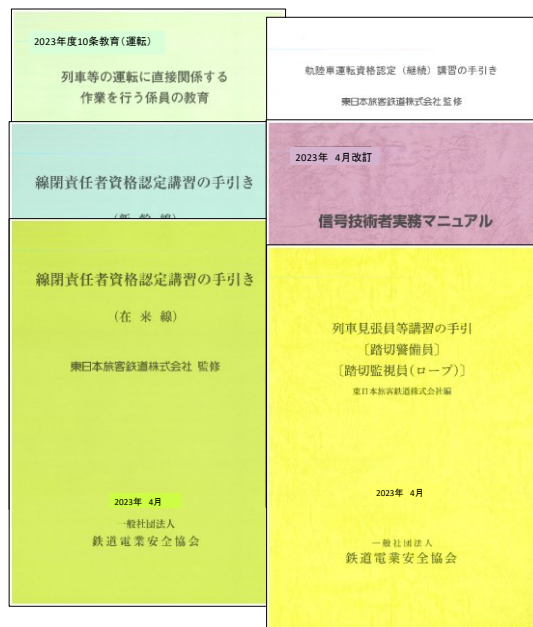


□講習会に使用する教科書、事故防止要領等の作成、改定業務

☆事故防止要領等教科書



☆線閉責任者用等教科書



Ⅱ. 講習会事業

「講習会業務」と「資格認定業務」があります。

□講習会業務

工事指揮者、列車見張員、線閉責任者、保守用車、及び列車防護等の安全に関する講習及び学力試験を行います。

☆安全講習風景



・経験豊かな講師陣 ・充実した教材

☆列車見張員講習風景



・実践で体感実習

□資格認定業務

法令に定められた適性の確認を行います。適性は「精神機能検査」と「身体機能検査」があります。「精神機能検査」は運転適性検査により資質の検査、講習による知悉度テストを行います。「身体機能検査」は医療機関による検査結果の確認を行います。これらと鉄道技術基準に規定された各検査、実技訓練等により合否確認を行い資格認定の交付を行います。

当協会の公民鉄関係資格管理システム(JR資格を除く)を活用することによる効果としては、

- ・個人毎、鉄道事業者毎の資格認定証の有効期限等の管理が、一括して把握することができます。
- ・システムで管理する運転適性検査結果を共有化できるため、各鉄道事業者毎の合否判定値に適した判定ができ、有効期限内であれば、1回の受検で各鉄道会社の資格を保有できます。

☆運転適性検査(クレペリン)

作業をする際の的確な判断能力の有無の検査



- ・有資格考査員による的確な検査

☆医学適性検査

- ・医学適性検査結果の確認
- ・作業に必要な視力、聴力の判定

☆資格認定証交付

法令に定められた資質を認定し認定証を交付します。(運転適性検査、医学適性検査、及び講習・実技訓練・学力検査の総合判定結果により資格認定証を交付します。)

・工事従事者資格各種認定証(一例)



JR〇〇〇 工事従事者資格認定証	
氏名	東日本 太郎
生年月日	1967年10月8日
所属会社	●●建設株式会社
有効期限	2024年9月30日
QRコード	機関責任者(在来線・KIOSI(工機)機関・電車・バス)
	工事技能認定(特) 機器・線路・信号
	信号技術者B
	軌道車
ID: 1234567890	
一般社団法人 鉄道電業安全協会	

・列車見張員資格認定証(一例)

〇〇電鉄 工事従事者資格認定証	
氏名	〇〇次郎
生年月日	1983年 9月1日
所属会社	△△電設工業㈱
有効期限	2024年6月30日
発行者 一般社団法人鉄道電業安全協会	
所有資格	列車見張員



Ⅲ. 表彰事業

大別して、施工安全に関する賞と本協会への功労に関する賞の二つの表彰があります。

□施工安全賞

施工安全賞には、鉄道電気工事における現場作業の安全作業に関して顕著な功績があった方を表彰する「安全作業部門」の賞と、鉄道電気工事における安全管理、教育等に大きな功績があった方を表彰する「安全管理部門」の賞の二つがあります。

□鉄道電業安全協会功労賞

本協会の事業の発展、運営等に永年尽力され顕著な功績があった方に対し表彰します。

本部所在地

〒110-0005

東京都台東区上野2-12-20

NDKロータスビル

5F(事務所、講習室)、6F(講習室)

Tel: 03-5688-5494

JR: 054-2778

Fax: 03-5688-5496

E-mail: railecr@railecr.com

URL: <http://www.railecr.com>



支部、支所所在地

北海道支部

〒065-0007

札幌市東区北7条東18-1-40

(株)ドウデン3F

Tel 011-743-7622

Fax 011-743-7622

E-mail: hokaido-jimuchou@railecr.com

東日本支部

〒110-0005

東京都台東区上野2-12-20

NDKロータスビル5F

Tel 03-5688-5494

Fax 03-5688-5496

E-mail: railecr@railecr.com

東北支所

〒980-0021

仙台市青葉区中央4-9-23

NDK仙台ビル 4階

Tel 022-723-7730

Fax 022-715-5766

E-mail: tohoku-jimuchou@railecr.com

新潟支所

〒950-0853

新潟市東区東明5-7-2

NDK新潟ビル2F

Tel 025-286-9959

Fax 025-286-9959

E-mail: nigata-jimuchou@railecr.com

東海支部

〒451-0041

名古屋市西区幅下2-12-4

新生テクノスビル8F

Tel 052-586-5460

Fax 052-586-5460

E-mail: tokai-jimuchou@railecr.com

西日本支部

〒546-0022

大阪市東住吉区住道矢田6-11-20

Tel 06-6776-2731

Fax 06-6776-2732

E-mail: nishinihon-jimuchou@railecr.com

中国支所

〒732-0057

広島市東区二葉の里1-2-9

新生テクノスビル広島支社ビル 2F

Tel 082-262-5670

Fax 082-262-5670

E-mail: 6hiroshima@railecr.com

四国支部

〒760-0013

高松市扇町1-1-48

四国電設工業(株) 1F

Tel 087-813-1321

Fax 087-813-1321

E-mail: shikoku-jimuchou@railecr.com

九州支部

〒812-0895

福岡市博多区竹下1丁目18番17号

JR九州電気システム(株) 1F

Tel 092-481-8766

E-mail: dengyo.kyushu@kdsnet.co.jp